1 事前確認と操作の流れ

ここでは［写真管理］や［建設CAD］［電子納品ツール］など各プログラムでの電子納品成果作成をスムーズに行うために、前もって確認しておいたほうがよい内容や、以降の説明・操作の流れについて説明します。

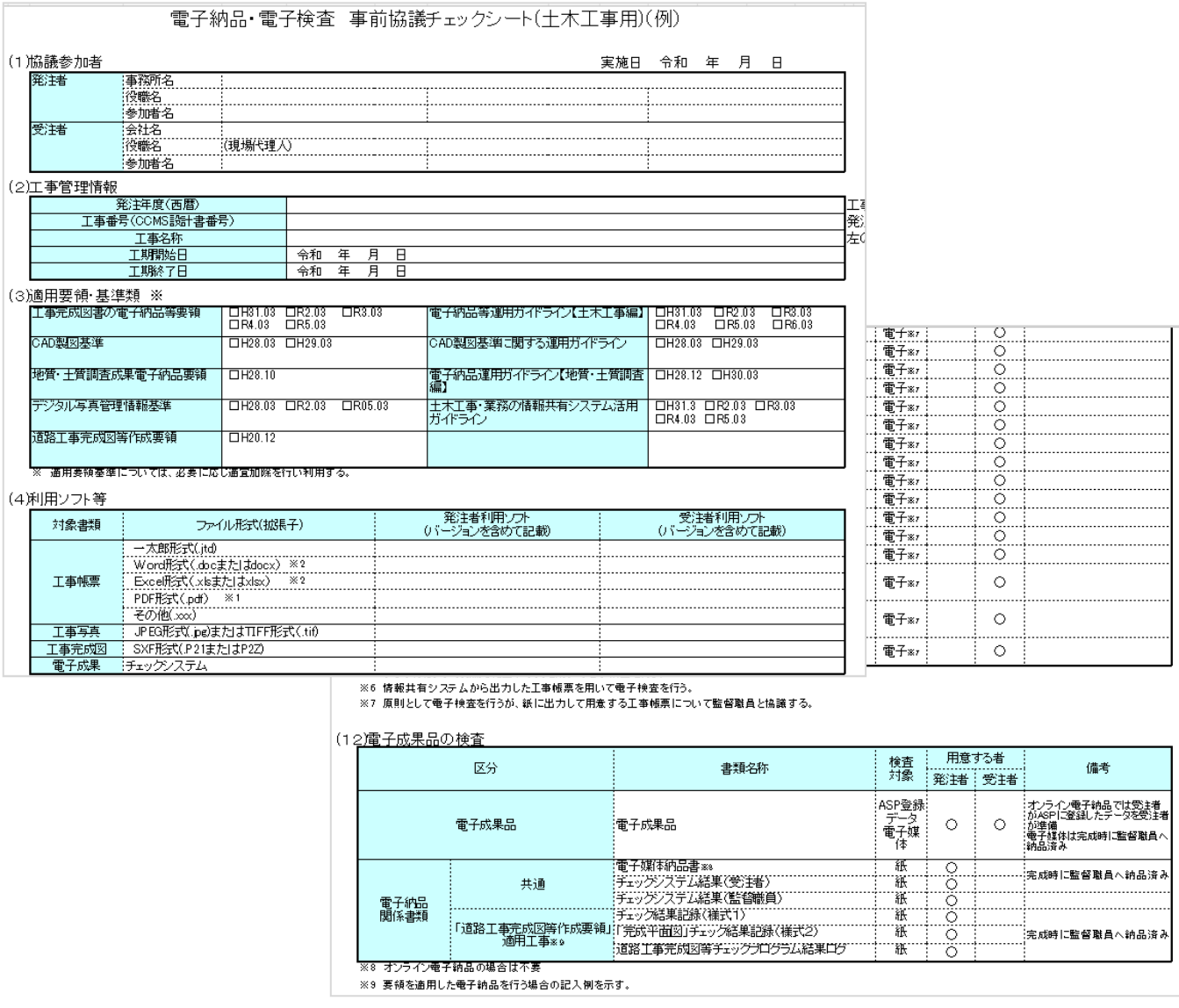
1-1 基準案・ガイドラインの確認

基準案・ガイドラインによって、納品する成果データの種類やファイル形式が異なる場合があります。
発注元から指定されている基準・ガイドラインなどを準備して内容を確認しておきましょう。
各基準案・ガイドラインの詳細内容は、各省庁または各自治体のWebサイトで公開されているものもあります。
国土交通省の場合は、ホームページ（http://www.cals-ed.go.jp/）で公開されています。（2025/10月時点）

1-2 事前協議内容の確認

基準案とは異なる形式での納品や規定されていない成果の納品については事前協議でしっかりと決めておく必要があります。
「事前協議チェックシート」などを準備して、作成すべき内容を確認しておきましょう。

下記のチェックシートは、「国土交通省　電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】 令和6年3月」の場合の例ですが、電子成果とする書類の有無や、成果作成時に使用するプログラムの名称・バージョン、成果内容の確認時に使用するパソコンを発注者・受注者のどちらが用意するのかなど細かく記載する欄があります。



電子納品・電子検査　事前協議チェックシート(土木工事用)(例)

(1)協議参加者　　実施日　令和　年　月　日

発注者	事務所名			
	役職名			
	参加者名			
受注者	会社名			
	役職名	(現場代理人)		
	参加者名			

(2)工事管理情報

発注年度(西暦)	
工事番号(CCMS設計書番号)	
工事名称	
工期開始日	令和　年　月　日
工期終了日	令和　年　月　日

(3)適用要領・基準類　※

工事完成図書の電子納品等要領	□H31.03 □R2.03 □R3.03 □R4.03 □R5.03	電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】	□H31.03 □R2.03 □R3.03 □R4.03 □R5.03 □R6.03
CAD製図基準	□H28.03 □H29.03	CAD製図基準に関する運用ガイドライン	□H28.03 □H29.03
地質・土質調査成果電子納品要領	□H28.10	電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】	□H28.12 □H30.03
デジタル写真管理情報基準	□H28.03 □R2.03 □R05.03	土木工事・業務の情報共有システム活用ガイドライン	□H31.3 □R2.03 □R3.03 □R4.03 □R5.03
道路工事完成図等作成要領	□H20.12		

※　適用要領基準については、必要に応じ適宜加除を行い利用する。

(4)利用ソフト等

対象書類	ファイル形式(拡張子)	発注者利用ソフト (バージョンを含めて記載)	受注者利用ソフト (バージョンを含めて記載)
工事帳票	一太郎形式(.jtd)		
	Word形式(.docまたは.docx) ※2		
	Excel形式(.xlsまたは.xlsx) ※2		
	PDF形式(.pdf) ※1		
	その他(.xxx)		
工事写真	JPEG形式(.jpeまたはTIFF形式(.tif)		
工事完成図	SXF形式(P21またはP22)		
電子成果	チェックシステム		

電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	
電子※7		○	

※6 情報共有システムから出力した工事帳票を用いて電子検査を行う。
※7 原則として電子検査を行うが、紙に出力して用意する工事帳票について監督職員と協議する。

(12)電子成果品の検査

区分		書類名称	検査対象	用意する者 発注者	用意する者 受注者	備考
電子成果品		電子成果品	ASP登録データ 電子媒体	○	○	オンライン電子納品では受注者がASPに登録したデータを受注者が準備 電子媒体は完成時に監督職員へ納品済み
電子納品関係書類	共通	電子媒体納品書※8	紙	○		完成時に監督職員へ納品済み
		チェックシステム結果(受注者)	紙	○		
		チェックシステム結果(監督職員)	紙	○		
	「道路工事完成図等作成要領」適用工事※9	チェック結果記録(様式1)	紙	○		完成時に監督職員へ納品済み
		「完成平面図」チェック結果記録(様式2)	紙	○		
		道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ	紙	○		

※8 オンライン電子納品の場合は不要
※9 要領を適用した電子納品を行う場合の記入例を示す。

1-3　武蔵を使用して電子納品成果を作成する流れ

以降の説明で行う操作のおおまかな流れは以下のとおりです。

